



じ ぞう いん
地蔵院のタブノキと
アオスジアゲハ



アオスジアゲハ

アゲハチョウ科
アオスジアゲハ属・
別名クロタイマイ

家族みんなで楽しめる

赤山 塗り絵

アオスジアゲハは体長3~4.5cmほど、5月から10月にかけて活動するアゲハチョウ科の中でもスマートな形をした蝶です。黒い羽根の半ばには青白い(個体によって鮮やかなブルーやエメラルドブルーの)模様が入っていて、とても素早く草木の間を飛び回ります。幼虫は他の虫があまり好まないクスノキ科のクスノキや、タブノキの葉を好んで食べるので、成虫もクスノキ科の木のある神社や公園でよく目にすることができます。素早く動くため目の複眼も非常に発達していて、人間よりも(視力は低いのですが)はるかに多い種類の色や、紫外線なども見分けることができることが、近年の研究で明らかになっています。



地蔵院のタブノキ (川口市指定天然記念物)川口市桜町 5-5-39



タブノキはクスノキ科の常緑樹で、地蔵院のタブノキは高さ約20m・根回りの太さは約5mに達する推定樹齢600年の大きなものです。タブノキは本州中部以南の海岸近くで自生するのが普通で、関東の内陸部でこれほど大きく成長した例は珍しく、非常に貴重なものとして川口市の天然記念物に指定されています。



タブノキの花



タブノキの実



木造不動明王立像



地蔵院本堂



良縁地蔵

地蔵院は、伝承では今から1200年以上昔の聖武天皇時代の創建とされています。地蔵院本尊の地蔵菩薩は平安時代に、行基がこの地に伝えたと言わり別名「子育て地蔵菩薩」。同じ敷地内には慈眼寺本尊十一面観音像・「安産観音」、鎌倉時代に造られた埼玉県指定有形文化財の木造不動明王立像・「平和不動」、他に「修行大師」や「良縁地蔵」といった広く信仰を集める仏様たちを安置しています。地蔵院は江戸時代の「日光道中絵図」にも「地蔵堂」として描かれており、「鳩ヶ谷八景」にも「地蔵院の晩鐘」として選ばれています。